



三井海洋開発株式会社  
第38期 定時株主総会

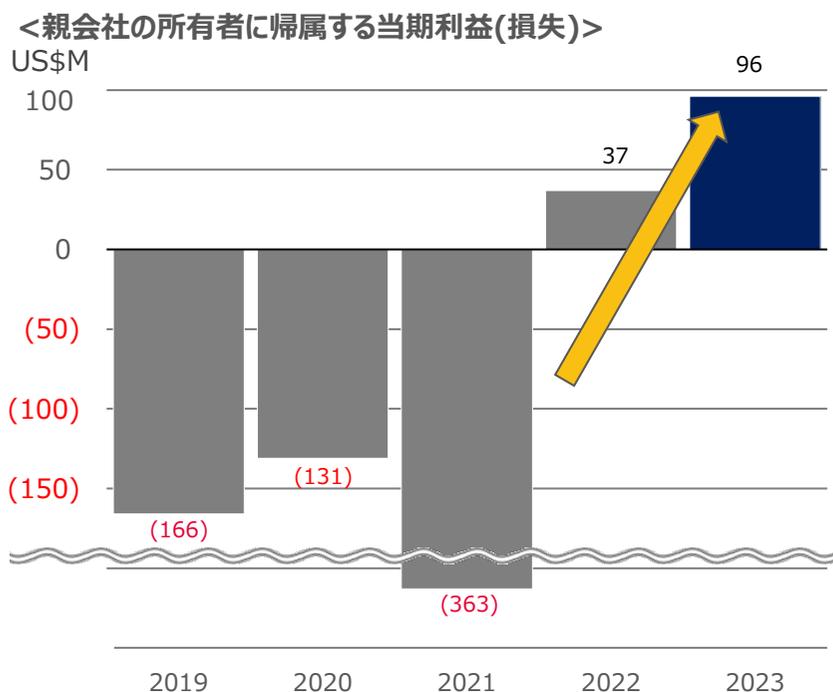
2024年3月27日

事業報告（2023年1月1日～2023年12月31日）

中期経営計画2024-2026



# 2023年12月期：ハイライト

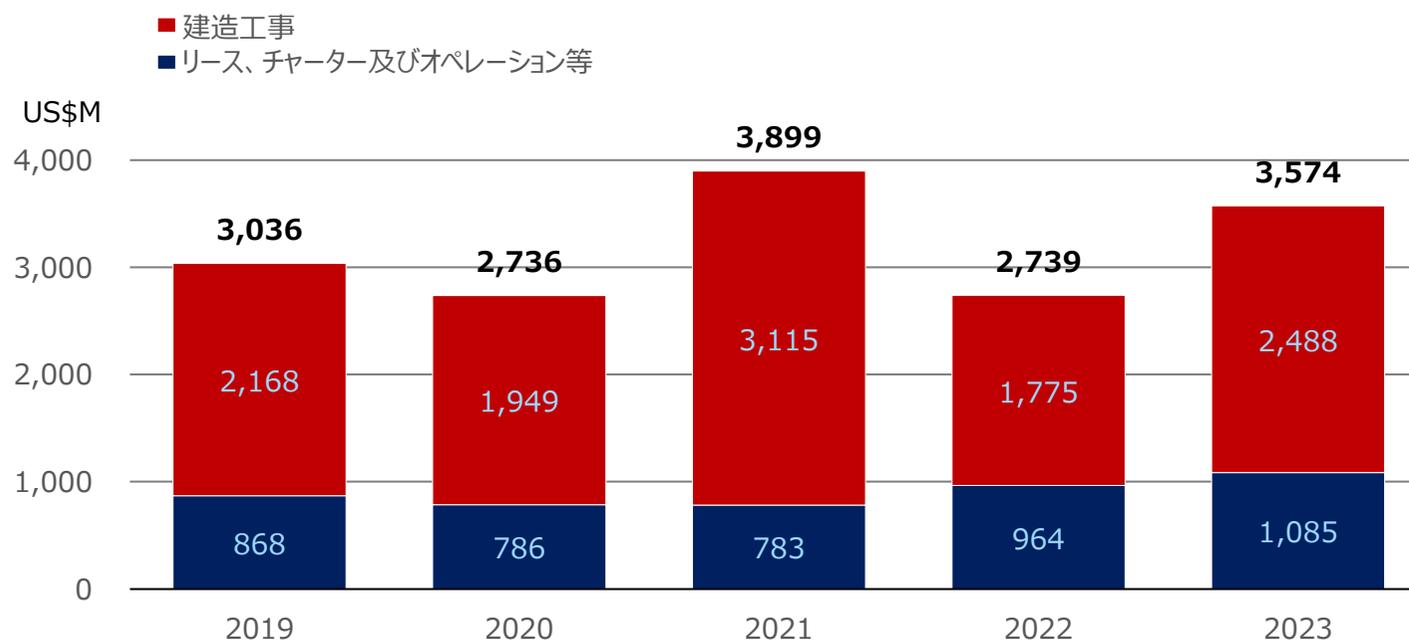


## 新規建造工事の順調な進捗に加え、ブラジルの古いFPSOのアセット・インテグリティが改善したことにより、利益が大幅に増加

- 新規に受注したExxonMobil Uaru FPSO、Equinor Raia FPSOの建造工事が順調に進捗
- 大規模修繕をしたFPSOでは稼働率が着実に改善
- MV20については売却が決定
- MV32 FPSO、MV33 FPSOの建造工事が終了し、チャーターを開始

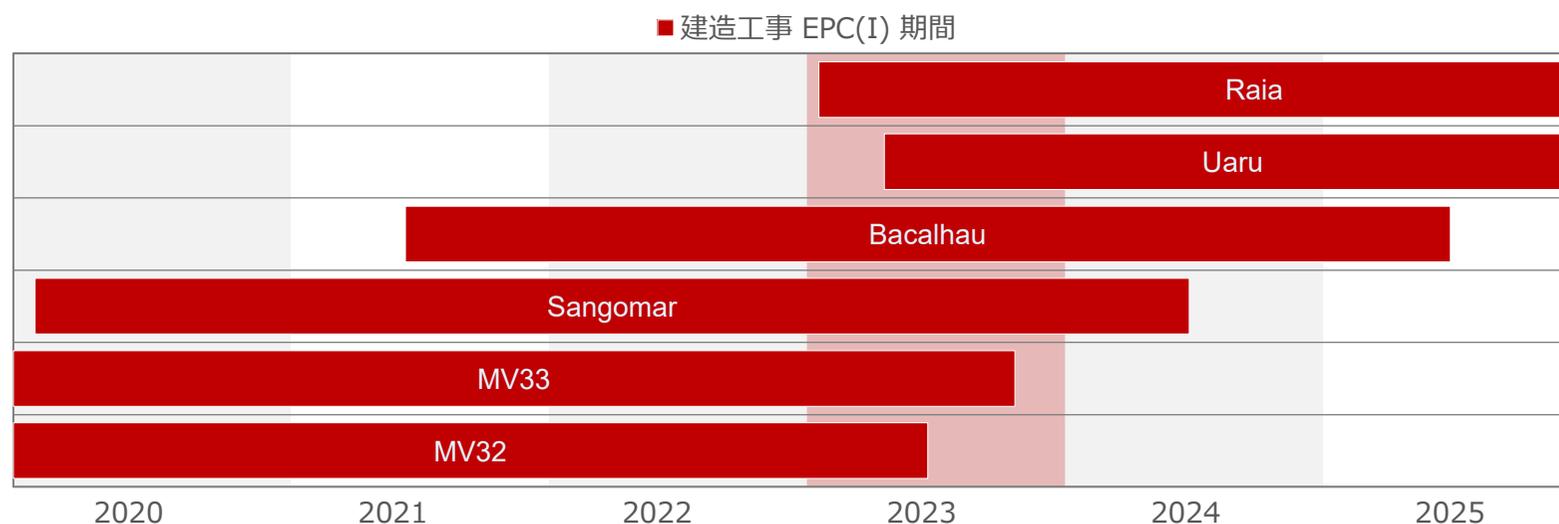


# 売上収益



## 建造工事が順調に進捗

ExxonMobil Uaru、Equinor Raia・Bacalhau、Woodside Sangomarを中心とした建造案件の進捗により売上収益は増加



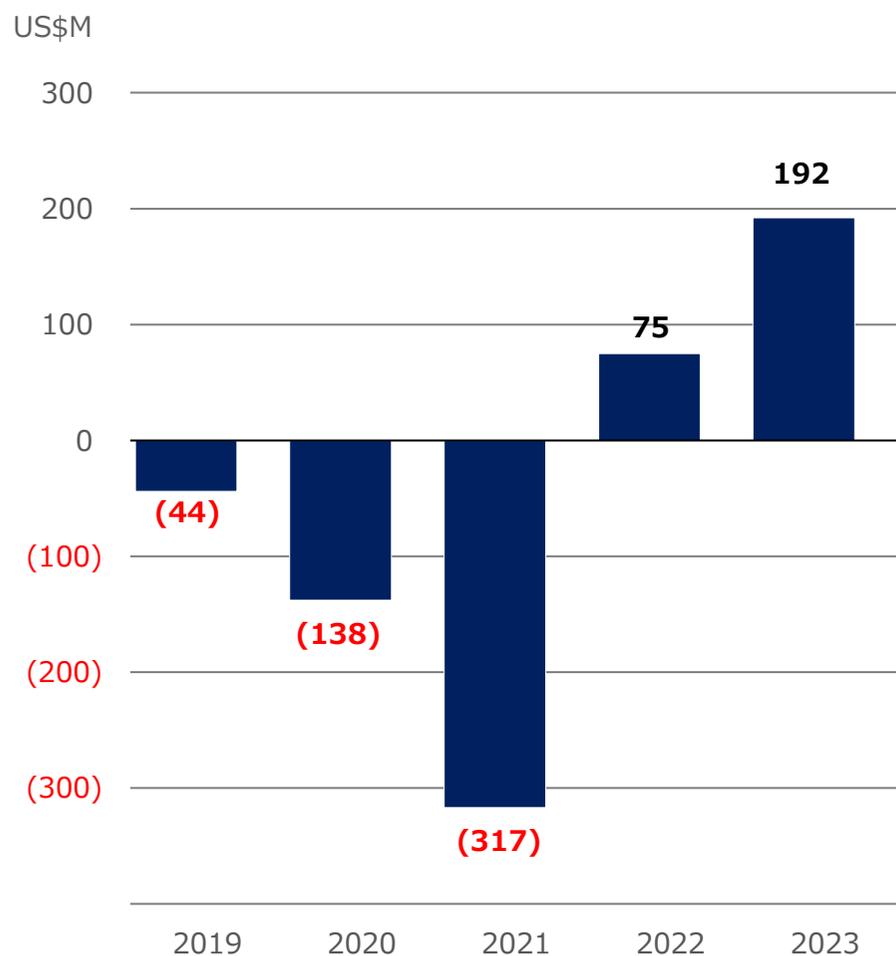
2023年度  
建造工事売上明細  
(US\$M)

Uaru : 800  
Raia : 500  
Bacalhau : 500  
Sangomar : 400

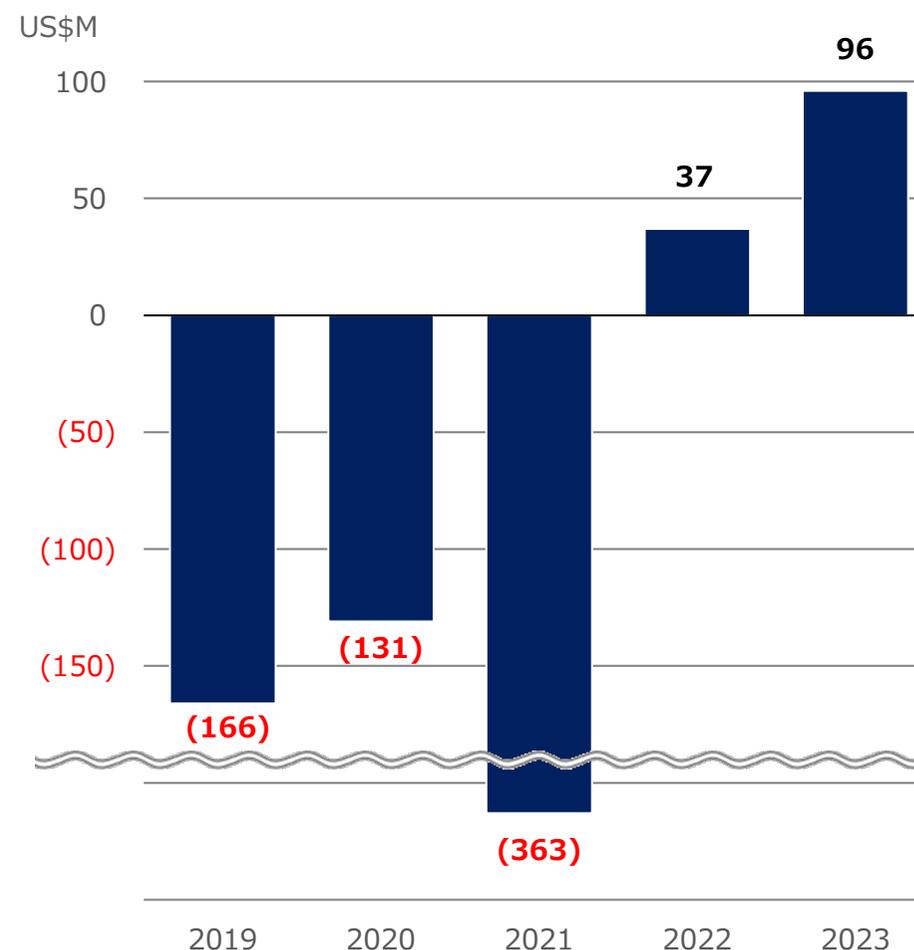
# 営業利益・親会社の所有者に帰属する当期利益

利益は大きく改善し、営業利益 US\$192M、当期利益 US\$96Mを計上

## 営業利益(損失)



## 親会社の所有者に帰属する当期利益(損失)



# 2023年12月期：建造工事の状況(2023年12月現在)

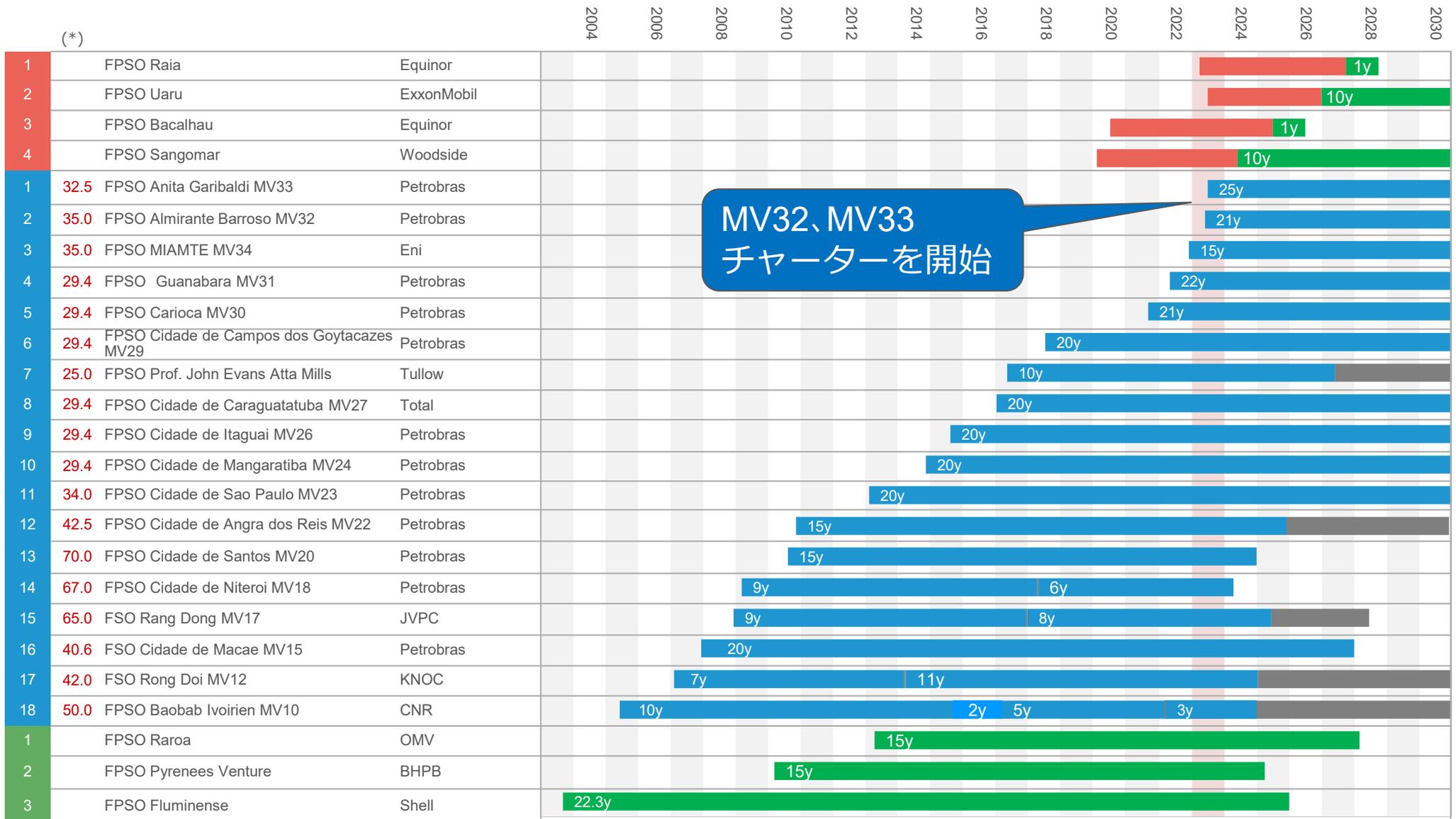
	FPSO Sangomar	FPSO Bacalhau	FPSO Uaru	FPSO Raia
顧客	Woodside	Equinor	ExxonMobil	Equinor
契約形態	Purchase Contract + O&M (10年+1年毎x10の延長オプション)	EPCI + Short term O&M	EPCI + O&M (10年)	EPCI + Short term O&M
生産開始(予定)	2024年	2025年	2026年	2027年
鉱区	Sangomar	Bacalhau	Stabroek	BM-C-33
所在地	セネガル	ブラジル	ガイアナ	ブラジル
水深	780 m	2,027 m	1,690 m	2,900 m
貯油能力 生産量	1,300,000 bbls 100,000 bopd 130 mmscfd	2,000,000 bbls 220,000 bopd 500 mmscfd	2,000,000 bbls 250,000 bopd 540 mmscfd	2,000,000 bbls 125,000 bopd 565 mmscfd

2023年12月現在

- EPC(I) 期間
- チャーター期間 (確定)
- チャーター期間 (オプション)
- オペレーション期間



# EPC(I)/ チャーター、オペレーション期間

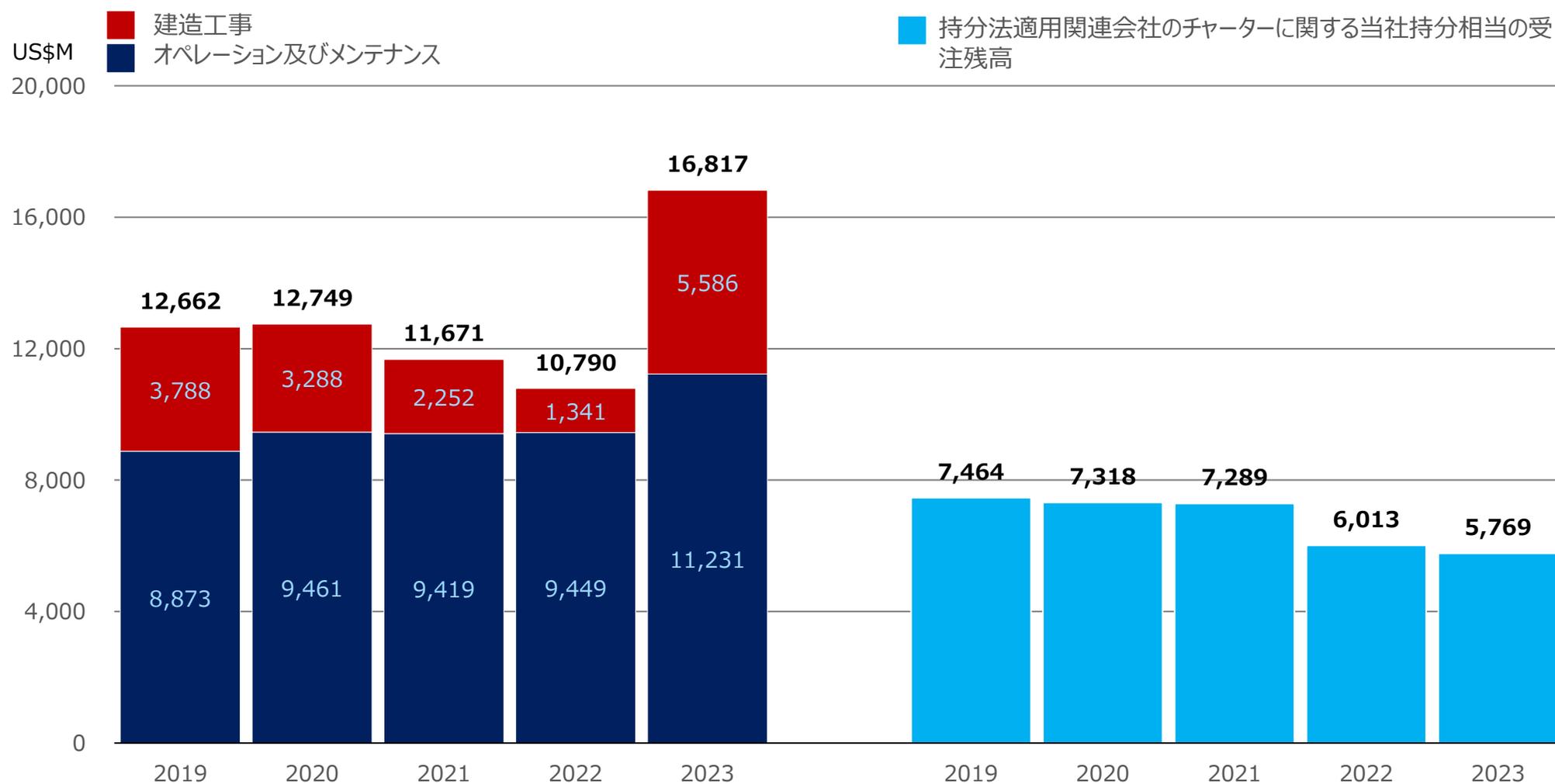


MV32、MV33  
チャーターを開始

(\*) 持分法適用会社当社グループ保有 (%)

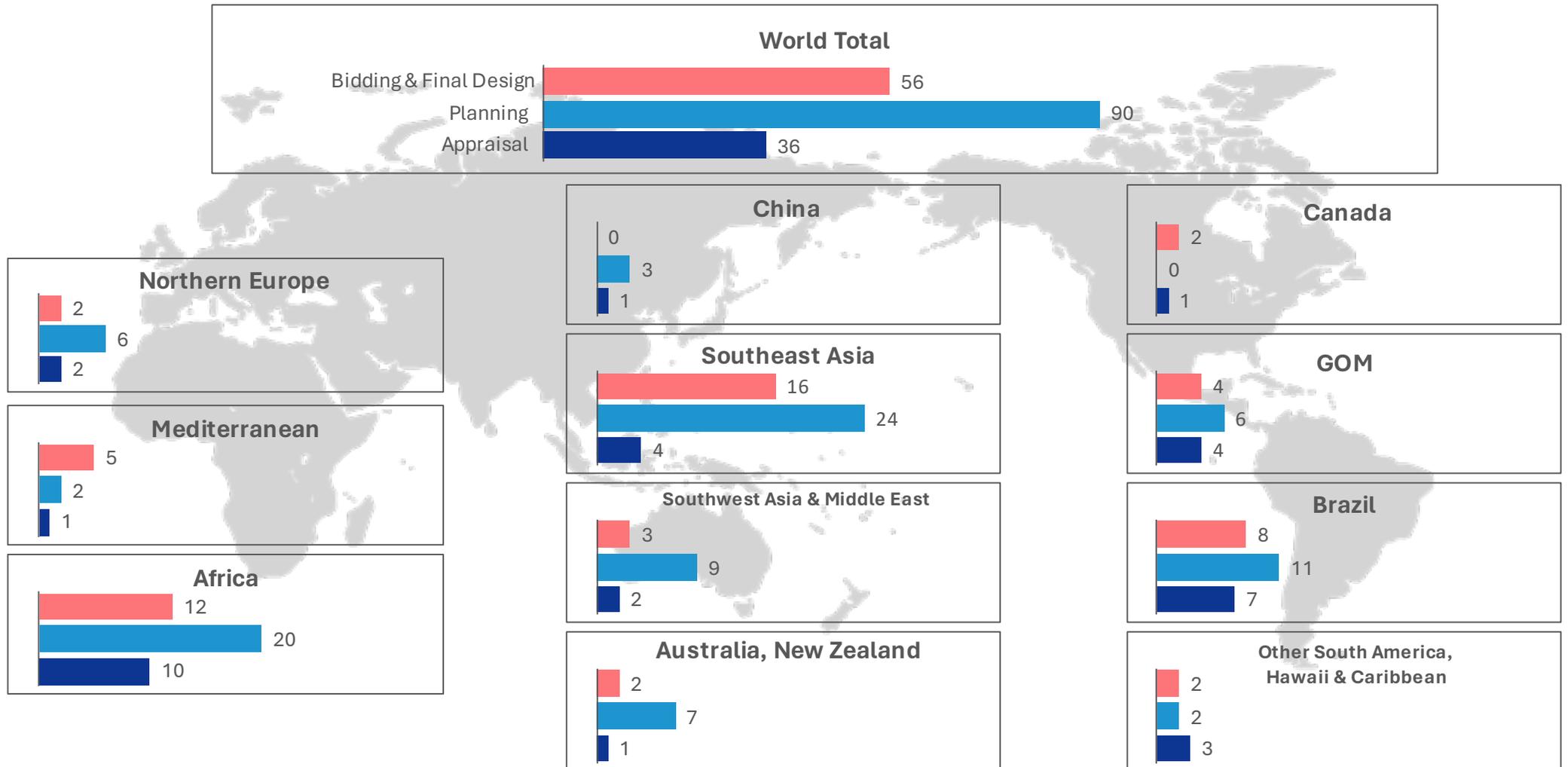
# 受注残高

- 建造工事の受注残高は、2件の新規受注案件により大幅に増加
- チャーター・O&Mの受注残高は長期契約により高位で安定的に推移



# プロジェクト計画予想

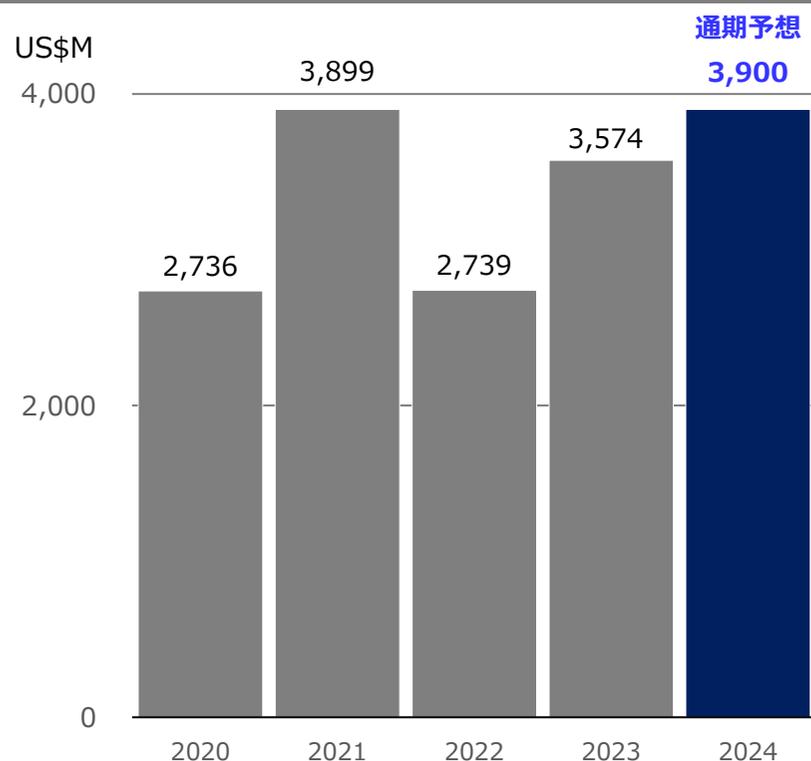
中南米、アフリカ、東南アジア海域における海洋油田の開発意欲は依然として高い



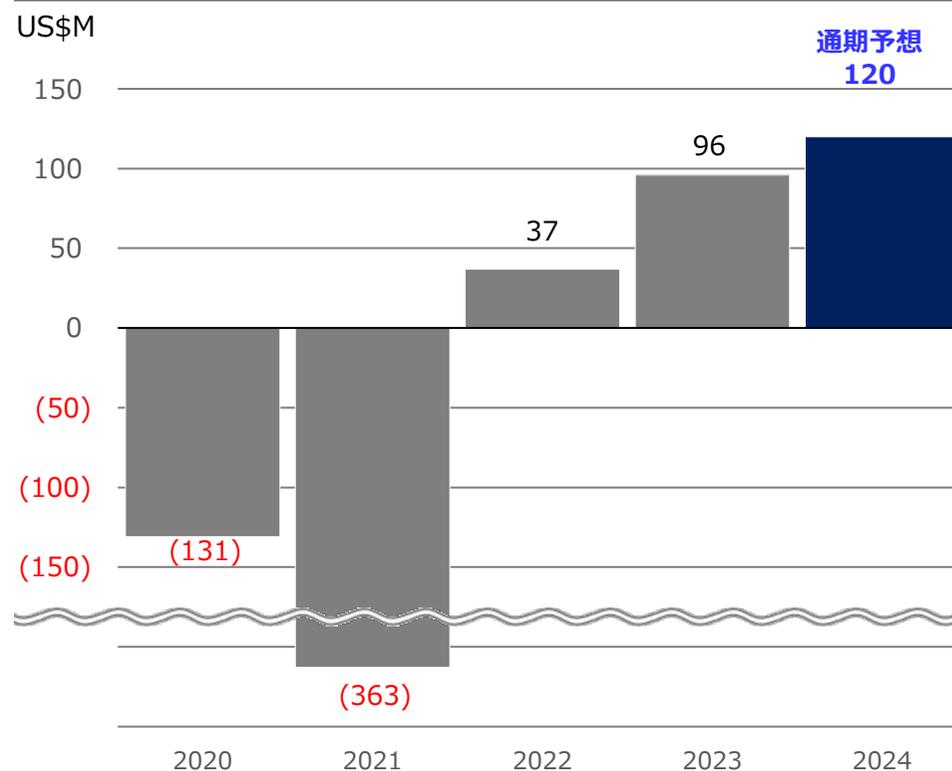
# 2024年12月期：業績予想

- 2023年に受注したExxonMobil Uaru、及びEquinor Raiaの建造工事の進捗により、売上収益はUS\$3,900Mを見込む
- FPSOの追加修繕費用を一部見込むものの、上記2つの大型案件の建造工事進捗や、MV32、MV33のチャーターインによる持分法投資利益の積み上げにより当期利益はUS\$120Mへの増益を予想

## 売上収益



## 親会社の所有者に帰属する当期利益(損失)

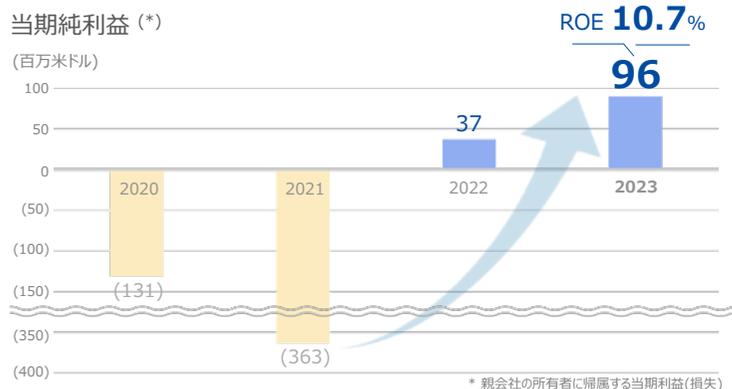


事業報告（2023年1月1日～2023年12月31日）

中期経営計画2024-2026



## 連結業績



- ・主に新型コロナウイルス感染症の世界的流行の為、当初の財務目標（2023年に2億米ドル）を下回る
- ・2022年以降は、当社の取組並びに好調な市況を背景に安定成長軌道に回復
- ・チャーター事業に伴う資金需要を増資と社債発行にて手当

## 戦略

アセット・インテグリティ

- ・ コロナ禍の影響を受けるも、集中作業船を活用し、FPSOのコンディションを維持・改善
- ・ 画期的なタンクメンテナンス・検査手法をパートナーと共同開発

デジタルイノベーション

- ・ AIによる故障予知モデルを開発し、オペレーションの費用削減に貢献
- ・ ジョイント・ベンチャーShape 社を設立し、社外顧客にデジタル・ソリューションサービスを展開

新事業

- ・ NEDO「浮体式洋上風力発電グリーン・イノベーション・プログラム」フェーズ1にて業務委託契約を締結

ESG

- ・ GHGプロトコルに基づくGHG排出量開示を開始（スコープ1～3）
- ・ 「2050年ネットゼロ」ロードマップを策定

## ビジョン

海洋と人が調和しながら共生共栄できる世界を切り拓きます

## ミッション

持続可能な未来の実現に向けて、独創的なフローティング・ソリューションを通じ、海洋が持つその可能性を解き放ちます

## コア・バリュー

我々は“OCEAN”にコミットします

**O**ne team

寛容、平等、相互信頼に基づいたオープンな対話を実践することで、多様性に富んだ我々の組織を一つにし、真の価値を創造します

**C**are

常に安全を最優先事項とし、これまで大切にしてきた、我々の仲間、アセット、環境を育てています

**E**mpowered

先駆者の精神を忘れず、オーナーシップを持って判断し、仲間を信頼し、共に成長し続けます

**A**gile

結果に直結させる意識を高く持ち、変化に俊敏に対応し、継続的な改善を追い求めます

**iN**tegrity

人権の擁護、プロフェッショナルとしての行動、並びにコンプライアンスと倫理を尊ぶ文化を以て、常に正しく適切に業務を遂行します

## ビジョン 2034

## “海洋と人をつなぐグローバル・リーディング・プレイヤー”



FPSO

世界最高のFPSOビルダー・オペレーターとして、安全性・高稼働時間と両立する**最小の二酸化炭素排出量**を実現



浮体式洋上風力

**海に優しい独自のソリューション**を提供する浮体式洋上風力発電のエッセンシャル・プレイヤー



代替エネルギー

**カーボンフリー代替エネルギー**の浮体生産ソリューションを実現



デジタル・ソリューション

**GHG排出削減**を含む産業界の課題解決を支援する**革新的なデジタル・ソリューション**の提供



企業文化と人財

- イノベーションと新事業のインキュベーションを促進する文化
- 組織のDE&I（多様性、公平性、包括性）を通じて、従業員の**人的資本**の潜在能力を引き出す

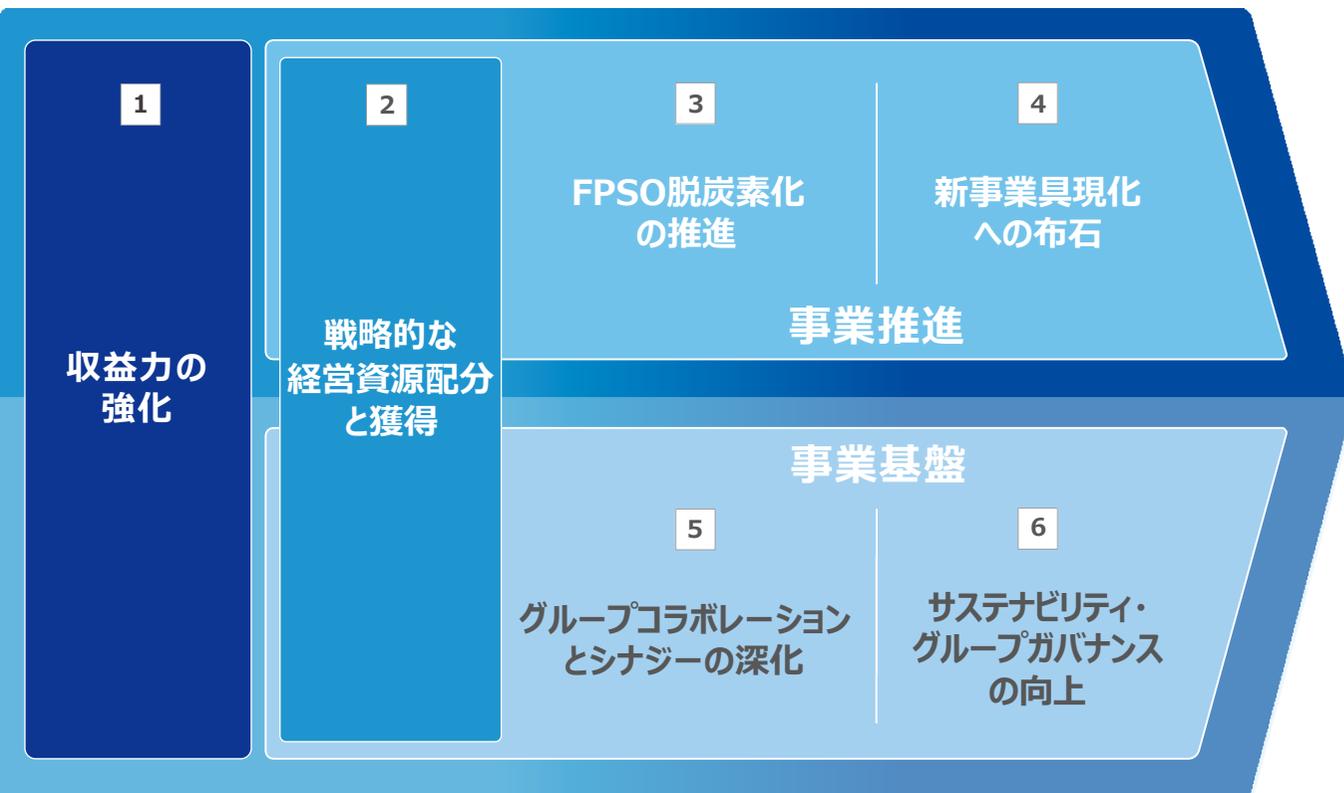
サステナビリティを意識して  
マテリアリティを選定

### マテリアリティ

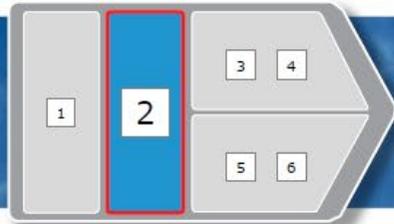


MTP 2024 - 2026

"イノベーションで**持続可能な未来**を拓く"



\* ガスタービン・コンバインドサイクル発電機



## 戦略的資源配分と獲得

### 収益力の強化

- EPCI完工と品質
- 堅固な受注残と安定したキャッシュフロー
- アセット・インテグリティ維持・向上

### 経営資源



- フリーキャッシュフロー
- 人財

### 将来の為の資源配分

- 研究開発
- M&A



### FPSO事業の価値向上

- FPSO事業の脱炭素化推進
- FPSO事業の安全性と効率性の向上
- プロジェクト実行力の強化



### 新事業

- 浮体式洋上風力発電
- 代替エネルギー製造システム (アンモニア、メタノール、水素など)
- その他当社の浮体ソリューションを活用できる事業



### 人的資本

- 様々な研修機会を通じた人材育成への投資
- 次世代を担うリーダーの育成
- 組織のDE&I (多様性、公平性、包括性) の促進

## 財務KPI

(百万米ドル)

	2023年度 (実績)	2024年度 (予想)	2026年度 (目標)	
純利益 (*1)	96	120	175	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 建造中のプロジェクトの着実な遂行による顧客価値の最大化</li> </ul>
自己資本利益率(ROE)	10.7%	-	12.0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>• フリーキャッシュフローの一部を、当社の将来の為に投資（事業の脱炭素化や新事業開拓）</li> </ul>
株価純資産倍率 (PBR)	1.12	-	> 1.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 資本コストを意識した経営による企業価値最大化</li> <li>• 業績に応じた株主への還元</li> </ul>
調整後 EBITDA (*2)	248	-	300	

\*1 親会社の所有者に帰属する当期利益(損失)

\*2 一過性損益調整前

Thank you

